

運営推進会議 議事録

事業所名	小規模多機能ホーム薬師堂ふじみ・薬師堂グループホームキミ
所在地	練馬区富士見台 4-4-18
開催日時	令和元年 9月 28日 土曜日 13:00 ~ 14:00
出席者内訳	利用者家族 3名 介護保険課職員 1名 近隣代表 1名 職員 6名（施設長、管理者1名、ケアマネ3名、法人事務長）
主な議事	◎各フロアの報告、質疑応答 ◎身体拘束について、10月からの料金体制変更について、実地指導についての報告
小規模多機能ホーム活動報告	◎小規模多機能ホーム薬師堂ふじみ 管理者から 「運営推進会議報告書 小規模多機能ホーム薬師堂ふじみ」発表。配布資料参照。
グループホーム活動報告	◎薬師堂グループホームキミ 施設長（3F）、ケアマネ（5F）から 「運営推進会議報告書 薬師堂グループホームキミ 3F、5F」発表。配布資料参照。
	<p>◎施設長より報告</p> <p>①身体拘束について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の身体拘束についての話をし、まずは見守りカメラの問題点についてミーティングやアンケートを行ったのでその結果を報告したい。 <p><問題点など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの侵害。ご本人が判断できず設置の了解を得ることができない場合も、ご家族了解で使用している。マットセンサーに変更できないか。 <p><アンケート、ミーティング結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮にマットセンサーや動作センサーにすると立ったり、動いたりした時点で鳴る。GH3Fで想定して、もし2Fにいれば2Fの居室にすぐ行けるが、3Fにいればセンサー音に気付いて行った時点で、すでに転倒している可能性がある。 ・夜間の職員とすれば、カメラを継続的に見ながら他の業務ができ、その日の夜間の状態や動きの予測をして、声かけをしたり、すぐに動けるよう対策をとったり事前に準備ができる。 ・ご家族としては転倒、怪我をさせないことが一番で、ベッドから落ちた時はいくら緩衝マットを敷いていても骨折などにつながりかねない。 ・派遣の夜勤者が来た時に、初めてでもカメラがあるから安心できたとの意見もあった。 <p>②令和元年10月からの料金改正について</p> <p><小規模多機能ホーム薬師堂ふじみ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・変更点は3点で、宿泊費が消費税増税分上がり1600円になった。また練馬区独自加算が300単位増え800単位になった。これは管理者が認知症介護リーダー研修を修了したことを受け、研修など事業所で実施することで得られるもので、10月から加算をとることになった。また10月から始まる介護職員の処遇改善の目的で作られた特定処遇改善加算Ⅱもとらせていただくこととなった。 <p><薬師堂グループホームキミ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本単位が2単位増えた。また入院時の費用について今までは入院時は料金を頂かなかったが、1回の入院につき6日分利用料金が発生することになった。金額にして1割負担で大体1600円位になる。また看取りのケースも増えているので、看取り介護加算も今後取得する予定。あとは小規模ふじみと同じく特定処遇改善加算Ⅱも取得させて頂く。あと金額は今までと変更はないが、共益費の使用内容に変更がある。今までは法人が別で払っていた建物保守管理費、例えば帝都防災に定期で建物検査をしてもらっているがそれを共益費から払うことになったが今までの金額でやりくりする。

運営推進会議 議事録

③9月11日の実地指導について

・区にある事業所を集めての集団指導が毎年あるが、そこで日頃言われていることをちゃんと守れているかどうかの個別のチェックとして実地指導を受けた。小規模ふじみではケアマネージャーのケアプランで何点か指摘があったのと、地域貢献度が少ないのではないかと指摘があった。町内会の盆踊りなどに参加はしていたが、事業所発信でのご近所様や地域の方との交流が少ないので、先日行った芋煮会やカフェなど実施できたらなど考えている。

・GHキミでは文書管理においてボールペンで書いて二重線を引かず、修正テープを使っていたことや、日々の介護記録で利用者様の状態をもう少し書くよう指摘を受けた。これはその日にトイレ介助が多いと記録がそれと食事だけとかになってしまう時があり、その日はどういう様子だったのかなどが少ないと、前に記録用紙を検討してどうしたら短時間で記入できるか試したが今度は簡素化しすぎて内容が少なくなってしまう。ご家族に毎月の様子は送らせてもらっているが、そういう風に日々の記録もするように他の業務と合わせて上手くできるようにしていなければならない。

◎法人事務長より報告

・10月1日から平良真昌理事長が退任して、平良眞一郎院長が理事長に就任する。また私も副理事長兼事務長につくことになった。ただ現理事長が退任しても今まで通りの往診は継続するのでその点をご安心下さい。

◎質疑応答

(Q1) 報告書の数字をみると、職員体制の所で5Fの介護度が高いのに3Fと比べて職員の人数が少なく、バランスが悪いのはなぜか？預けている側としてもやっぱり人数がいなくて不安だし、人がいなくて忙しすぎて心に余裕がなくなると、やさしく声をかけたくてもかけられない状況になるのが人間だから、そこは是非何とか対応して頂きたい。

(A1) 今はたまたまこういう状況で、体制的に1日夜勤除いて、常勤非常勤関係なく3人いる状態はどちらのGHも変わらない。確かに数字をみれば介護度高い5Fが少なく見えるのは間違いないが、ただ3Fは常勤の人数が5Fより1人多くても、現実として5Fと比べると非常勤の出勤日数が少ないので厳しいと感じている。ハローワークなどで募集は常にしているが中々応募がない状況で、だからといって派遣社員を入れるのも経営的に厳しい。

(Q2) 法人の方にも最後の質疑応答までいてほしい。特に人員の話などは法人が聞くべきだと思うので

(A2) 会議が重なることもあり、そちらに出席する為に途中で席を立つことがあるが、このようなご意見があったことはちゃんと法人に伝える。

(Q3) 家族も利用者本人も職員の名前が分からず困ることがあるので、家族も利用者も分かるような名札を付けるか、1Fに貼っているような職員紹介を貼ってほしい。

(A3) すぐに職員紹介で顔写真と名前が分かるように作り掲示をさせて頂く。また名札は介護時に引かかることもあるのでエプロンに貼り付ける事なども検討する

(※当日は上記の回答させて頂いたが、後日のミーティングで職員より、職員にも個人情報保護はあるのではないかと、写真や名前を貼りだすことや名前をエプロンなどに掲

運営推進会議 議事録

示することをしないと決めている別の介護事業所も存在することもあり、チームケアの観点から、個人を特定し、色々意見や要求をされるのではなく、個人ではなくチームでその意見や問題を取り組むべきだという意義があり、再検討中である。)

(Q4) 入浴や排泄介助で異性介助は普通なのか。女性が男性に介助されて嫌だと思うことや拒否はあると思うのだが

(A4) もちろん拒否などがあれば同性介助で行うが、始めのうちはそうでも、時間をかけてコミュニケーションとっていく中で信頼関係が生まれることもある。今までは女性じゃないと拒否があったが、数か月して慣れて、自分から男性職員にお風呂に入りたいと訴えるというケースもあった。GHも他のGHに比べると男性比率は多いし、小規模は特に常勤職員が全て男性で、非常勤は女性が多いので、入浴介助は女性でなければということであれば対応できるが、日々の排泄介助に関してはどうしても異性介助になることもある。ここで日々生活していて、周りもそうだからと段々慣れていく部分もあるとは思いますが、また逆に異性じゃないと入浴拒否があるというケースもある。ただご家族が思うかわいそうだな、嫌だなという気持ちはまた別なのでちゃんと受け止める。

◎身体拘束についての報告に関するご意見

・プライバシーの侵害の話で、センサーマットを実際に家族が入院して使ってあまり役に立たなかったことがある。人によってそれぞれのケースで全く違うと思うので、それぞれのケースを真剣に悩んで検討して、試行錯誤して対応して頂けるのであれば私はいいと思っている。

◎施設長より

・当事業所では中々ご家族からの意見がとれないということがあって、家族会の出席も少ないし、ケアマネと一対一なら話をしても、こういう場に参加して発言することに躊躇される方もいらっしゃると思うので、今後しばらく送迎同行職員が辞めたこともあり、私が朝の送迎に同行するので、そこで朝の様子とかご家族とお話ししたり、ケアマネとの一対一での話の中でご意見など聞いていけたりできたらと考えている。

◎小規模ふじみ管理者より

次回の運営推進会議は本来なら 11 月 23 日実施だが祝日と重なるので一週遅らせる対応を取らせていただきます。

その他

◎次回、運営推進会議の開催予定日 2019 年 11 月 30 日 (土) 13 時